

**一学年**

○ 基本方針

「自主自立」の精神に基づき、浦添高校生としての誇りと自覚を持たせ、豊かな人間性の基礎づくりを図る。

評価項目(努力目標)	具体的方策	評価			課題・備考
		1学期	2学期	年間	
ア 生活指導の充実を図る。	(1) 高校生として品位のある生活態度の育成に努める。(身なり指導)	B	B	B	
	(2) 基本的な生活習慣の確立を目指す。(時間のケジメをつけ、何事にもメリハリを持って臨む姿勢を育てる)	B	B	B	
	(3) 美化意識の高揚を図り、清掃活動を徹底させる。(整理整頓の徹底と汚さない指導を通して環境整備・美化意識の高揚を図る)	B	B	B	
	(4) 挨拶の励行を促し、礼節を重んじる態度を培う。(挨拶・礼の指導)	A	A	A	
	(5) 教師間の共通理解および連携のもと、生徒の状態に気を配り、生徒指導、教育相談の両面で時期を逸しない対応を行う。(学年団の結束)	A	A	A	
イ 学習指導の充実を図る。	(1) 自主・主体的な学習の定着化を図る。(予習・復習指導の徹底から家庭学習時間の定着を図る。)	C	C	C	
	(2) 日々の授業を重視し、自ら学ぶ力と態度を養う。	B	B	B	
	(3) 読書の充実を図る。	A	A	A	
ウ 進路指導の充実を図る。	(1) 面談を通して生徒・保護者との緊密な意思疎通を図り、適切な進路指導を心掛ける。	A	A	A	
	(2) 進路指導部と連携し、進路情報を積極的に発信する。	A	A	A	
エ 文武両道の推進とリーダーの育成を図る。	(1) 個性の伸長と対人関係の大切さ、命の尊さの指導をする。	A	A	A	
	(2) 文武両道の校是のもと、学習、部活動ともに一生懸命取り組む雰囲気作りを促す。	A	A	A	
	(3) HR活動、学校行事、その他の活動を通して、リーダー性・協調性・実行力を養う。	A	A	A	
	(4) LHRを計画的に運営する。	B	A	B	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

## 三学年

### ○基本方針

高校生活にも慣れ、学校の中核的存在としての活躍が期待される学年である。しかし、その一方で緊張感が薄れ、勤怠状況の悪化や学習成績低下といった気の緩みも見られる。これらの課題を克服し、豊かな人間性を育み、個々の技能を伸ばしながら具体的な進路先を意識できるように学年会を中心とした指導を展開する。

評価項目 (努力目標)	具体的方策	評価			課題・備考
		1学期	2学期	年間	
ア 生活指導の 充実を図る。	(1) 高校生として品位のある生活態度の育成に努める。(身なり指導やモラル・マナー指導の徹底)	B	B	A	
	(2) 基本的な生活習慣の確立を目指す。(時間のケジメをつけ、何事にもメリハリを持って臨む姿勢を育てる)	B	B	B	
	(3) 清掃活動を徹底させる。(教室や教室内の棚の整理整頓の徹底・学校施設の整備・美化意識の高揚を図る)	C	C	B	
	(4) 挨拶の励行を促し、礼節を重んじる態度を培う。(挨拶・礼の指導＝始業は起立・終業は正座)	B	B	A	
	(5) 教師間の共通理解および連携のもと、生徒の状態に気を配り、生徒指導、教育相談の両面で時期を逸しない対応を行う。(学年団の結束・拡大学年会の企画・運営を利用し、問題行動の早期発見・解決に努める)	B	B	A	
イ 学習指導の 充実を図る。	(1) 自主・主体的な学習の定着化を図る。(週末課題などを利用し、家庭学習時間の定着を促す。)	C	C	B	
	(2) 日々の授業を重視し、自ら学ぶ力と態度を養う。	B	B	B	
	(3) 朝読書の時間を有効に活用する。	C	C	B	
ウ 進路の早期 決定を図る。	(1) 面談を通して生徒・保護者との緊密な意思疎通を図り、具体的な進路先を意識させる。	B	B	A	
	(2) 進路指導部と連携し、進路情報を積極的に発信する。	B	B	A	
エ 文武両道の 推進とリーダー の育成を図る。	(1) 個性の伸長と対人関係の大切さ、命の尊さの指導をする。	B	B	A	
	(2) 文武両道の校是のもと、学習、部活動ともに一生懸命取り組む雰囲気作りを促す。	B	B	A	
	(3) 学校行事やHR活動等を利用し、生徒自らが企画・運営させる機会を与え、協調性やリーダー性・企画力・実行力を養う。(同時に「自主」「自立」「自律」の精神を養い自治能力の育成に努める)	B	B	A	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 三学年

#### ○基本方針

高校3年間の総仕上げの年である。生徒各自が自主自立をめざし、基本的な生活習慣の確立を図り、進路を早期に決定できるよう適切な進路指導を展開する。

評価項目(努力目標)	具体的方策	評価			課題・備考
		1学期	2学期	年間	
ア 基本的な生活習慣の確立の徹底を強化する。	(1) 学年集会を定例化し、指導を徹底する。	B	B	B	
	(2) 生徒指導及び関係部署と連携し、勤怠指導を徹底する。	C	B	B	
イ 進路実現に向けた学習指導の強化を図る。	(1) 自主学習の定着を図る。	C	C	C	
	(2) 各講座、模擬試験の効果的な活用を図る。	B	A	A	
ウ 進路指導の強化を図る。	(1) 進路指導部および関係部署との連携を徹底する。	B	B	B	
	(2) LHR、放課後等における進路指導(二者面談等)を徹底する。	A	A	A	
	(3) 「進路の手引き」の有効活用を図る。	A	A	A	
	(4) 各HR間の情報交換を密に行う。	A	A	A	
	(5) 保護者との連携(三者面談、進路学習会等)を密にする。	B	A	A	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 教務部

評価項目(努力目標)	具体的方策	評価			課題・備考
		1学期	2学期	年間	
◎学校運営を円滑に進めるための連絡・調整・支援体制づくりに努める。	ア 各部・学年・各教科との連携を深め、行事の円滑化に努める。	B	B	A	
	イ 諸行事の早期計画と推進に努める。	B	B	A	
	ウ 行事はできるだけ全職員が関わるように配慮する。	A	A	A	
	エ 各種委員会の活性化を図る。	B	B	B	
	オ 行事の精選と在り方について検討する。	—	B	A	
	カ 年間の授業日数・授業時数の確保に努める。	A	A	A	
	キ 高校入試が適正・円滑に実施されるように努める。	—	A	A	
	ク 職員研修の調整を行う。	B	B	A	
	ケ 時間割の適正化に努める。	A	A	A	
	コ HR担任や他の係との連携を密にして、学級事務がスムーズに出来るようにする。	B	B	A	
	サ 諸表簿の記入・点検について、適切な計画、実務処理を検討する。	—	B	A	
	シ 校務運営上の各部・学年等の申し合わせ事項について整理する(内規)。	B	B	A	
	ス 教育課程について検討・協議し、適切な教育課程の編成に努める。	B	B	A	
	セ 学級編成の適正化に努める。	—	—	A	
ソ 創立50周年記念事業に向けた取組を推進するために、PTA、同窓会、後援会との連携を図る。	A	A	A		

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 情報システム部

評価項目(努力目標)	具体的方策	評価			課題・備考
		1学期	2学期	年間	
○関係部署との連携を図り、スムーズに校務が運営できるように努力する。	ア 進路支援システムの運用	B	B	A	
	イ 学校ホームページ作成	B	B	A	
	ウ 校内LANのシステム管理	B	B	A	
	エ その他情報に関すること	B	B	B	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 環境保健部【美化】

#### ○ 基本方針

環境美化活動を通して、思いやりのある心と環境問題に積極的に取り組む生徒の育成を図る。

評価項目(努力目標)	評価			課題・備考
	1学期	2学期	年間	
ア 全生徒で取り組む環境美化活動の強化。	B	B	A	
イ ゴミ分別の強化を通して、リサイクルの意識を高める。	B	B	B	
ウ 緑化など、うるおいのある学校づくりをめざす。	B	B	B	
エ 地域の清掃(全体清掃時)を行う。	B	B	B	
オ 清掃用具の整備を図る。	A	A	A	
カ 不要な時の消灯、下校時の戸締まりを強化する。	B	B	B	
キ 学級美化委員会活動、生徒会との連携を図り、生徒の主体的な取り組みを強化する。	B	B	A	
ク 校舎配置計画を作成する。	A	A	A	
ケ 体育施設に関すること	B	B	B	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 環境保健部【教育相談】

評価項目(努力目標)	評価			課題・備考
	1学期	2学期	年間	
ア 生徒が自発的に来談できるよう工夫するとともに、教育相談室の有効利用を図る。	B	B	B	・別室登校生を教室復帰させるためのシステム(担任や教科担任との連携体制)を構築する。 ・別室登校に関する内規を研究する。
イ HR 担任、養護教諭や各部署との連携を密にし、生徒の心のケアを図る。	B	A	A	
ウ 長期欠席及び無届欠課の多い生徒、学業不振や悩みを抱える生徒との面談を早期に行い、学校生活へ適応できるよう支援する。	B	B	B	
エ 教育相談・特別支援教育委員会を有効に機能させ、心因性の問題を抱えた生徒や特別支援を要する生徒への支援体制を作る。	B	A	A	
オ 生徒理解のための図書・資料の紹介と人権教育の推進に努める。	B	B	B	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

**環境保健部 【 保健 】**

評価項目（努力目標）	評価			課題・備考
	1学期	2学期	年間	
ア 定期健康診断受診の徹底と生徒の健康実態の把握。	A	A	A	
イ 心身の健康の自主管理能力の育成。	B	B	B	
ウ 学校事故防止及び救急についての意識高揚を図る。	B	A	A	
エ 保健資料・情報の収集と提供の充実。	B	B	A	
オ 学校環境衛生管理の徹底。	A	A	B	
カ 生徒保健委員会の活性化を図る。	B	A	A	
キ 学校保健委員会活動の充実	B	B	B	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

**生徒指導部**

評価項目（努力目標）	具体的方策	評価			課題・備考
		1学期	2学期	年間	
○安全指導の徹底	ア 自転車の安全運転指導・防犯対策指導	A	A	A	
	イ 交通安全講話の企画・実施	A	A	A	
○健全指導の徹底	ウ 薬物講話の実施			A	
	エ 深夜徘徊防止夜間指導への協力	A	B	B	
○学校生活の躰指導の徹底を図る。	オ 服装指導の徹底	B	B	B	
	カ 染髪・身なり指導の徹底	B	B	B	
	キ あいさつ運動の企画と登校指導(毎朝の遅刻集計)	A	B	B	
	ク 集会時「集合」と「聞く態度」の指導の徹底	B	B	B	
	ケ 携帯電話のマナー指導	B	A	A	
○自主・自立を謳った「浦高宣言」の精神を生かし、学校生活の活発化を図る。	各行事への積極的・民主的な取組	B	A	A	
○生徒会執行部と各HR、及び各部活動の連携を密にする。	中央委員会の定例化	B	B	B	
	部活動の活性化とその加入率向上の取組	B	B	B	
	下校指導の徹底	C	C	C	
○特別活動を有効活用し生徒の自己表現とHRの活発化に寄与する。	部室の管理	B	B	A	
	特設LHRの企画・実施	B	A	A	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 進路指導部

評価項目(努力目標)	評価			課題・備考
	1学期	2学期	年間	
1 進路指導を強化し、生徒の進路の実現を図る。	B	B	B	
2 学年会との連携を密にするように努める。	B	B	B	
3 ホーム・ルームにおける進路指導を支援する。	B	B	B	
4 学力向上の充実を図る。	B	B	A	
5 資料の収集、提供を積極的に行う。	B	B	A	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 図書視聴覚部

○ 基本方針

図書館利用の充実と視聴覚教室活用の推進に努める。

評価項目(努力目標)	評価			課題・備考
	1学期	2学期	年間	
ア 生徒・職員のニーズに即した図書資料の充実を図る。	B	B	B	
イ 各教科・HRとの連携を密にし、学習指導を助ける。	B	B	B	
ウ 貸出冊数の増加と図書館利用の促進を図る。	B	B	B	
エ 図書返本を徹底させ、図書館利用のマナーを向上させる。	B	B	B	
オ 生徒図書委員会活動を活発にする。	B	B	B	
カ 視聴覚教室の整備と備品の充実を図る。	B	B	A	
キ 視聴覚機器及び教材の効果的な活用を図る。	B	C	C	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する

### 事務部

評価項目(努力目標)	評価			課題・備考
	1学期	2学期	年間	
ア 学校施設の安全管理及び教育環境の整備に努める。	B	B	B	
イ 法令・規則に準則した適正な事務処理に努める。	B	B	A	
ウ 教育予算の効率的・効果的な執行に努める。	B	B	A	
エ 学校における外部対応等の窓口としての役割を自覚し、適正な対応に努める。	B	B	B	

※ 評価基準 A:目標を十分達成できている B:目標を達成できている C:努力を要する